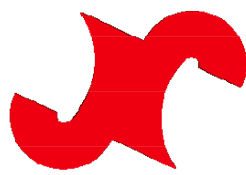


玄海原子力発電所の
一刻も早い再稼働を求める



平成28年5月25日

九州商工会議所連合会

玄海原子力発電所の一刻も早い再稼働を求める

川内原子力発電所1・2号機がそれぞれ昨年9月および11月に営業運転を開始したことは、安価で安定的な電力供給に向けた第一歩であり、大いに歓迎する。関係各位のご努力に深く敬意を表する次第である。

国民生活の安定と持続的な経済活動には低廉で安定的な電力供給が不可欠である。政府はエネルギー政策が国民生活とわが国経済に極めて大きな影響を及ぼすものであることを鑑み、「エネルギー基本計画」のもと、安全性、安定供給、コスト・経済性、品質など総合的な観点に立った実現性のある政策を推進することが重要である。

こうした中、九州においては、今夏の供給予備率が9.8%で供給面での不安が改善されているが、電気料金は高止まりしたままとなっている。現在の電気料金は2013年春に値上げされたもので、これは川内原発1・2号機、玄海原発3・4号機が同年度中に再稼働する前提で値上げ幅を算定したものである。

各企業ではさまざまな負担をしながら不断の節電に取り組んでいる。電力コストの高止まりは、電力多消費産業をはじめとする中小企業の収益改善の足枷となり、賃上げや雇用創出、新規の設備投資など、景気の好循環にも甚大な影響を及ぼしかねない。

については、これまでの審査手続きで蓄積されたノウハウを活かし、玄海原発3・4号機についても審査を迅速に進め、安全が確認された後、地元の同意を得た上で、政府の責任のもと早期に再稼働させることを強く求める。

(以 上)